



第85期
中間報告書

(令和2年3月1日から
令和2年8月31日まで)

岡谷鋼機株式会社

証券コード 7485

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

当社第85期上半期(第2四半期連結累計期間：令和2年3月1日から令和2年8月31日まで)を終了いたしましたので、ここに営業の概況等をご報告申しあげます。

令和2年10月

取締役社長

岡谷篤一



営業の概況

◆ 営業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における世界経済及び日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で経済活動が停滞し、景気が急速に悪化しました。このような状況下において、当社も当第2四半期連結累計期間における売上高は、3,646億63百万円で前年同期比17.9%の大幅な減収となりました。

営業の概況

損益につきましては、売上総利益が241億58百万円（前年同期比20.9%減）、営業利益が49億14百万円（前年同期比48.5%減）、経常利益が74億81百万円（前年同期比38.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は49億54百万円（前年同期比42.0%減）となりました。

中間配当金につきましては、1株あたり110円とし、支払開始日を10月30日とさせていただきます。

◆ 通期の見通し

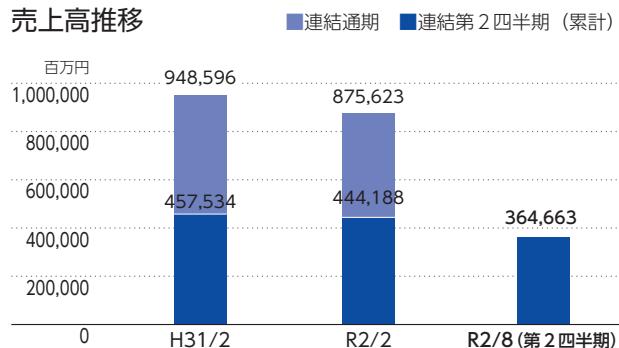
通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により業績予想の合理的な算定が困難であったため予想値の公表を見送っておりましたが、現時点で入手可能な情報及び予測等に基づき業績予想を算定いたしました。

当社グループの令和3年2月期の連結売上高は7,700億円、営業利益130億円、経常利益160億円、親会社株主に帰属する当期純利益は100億円を見込んでおります。

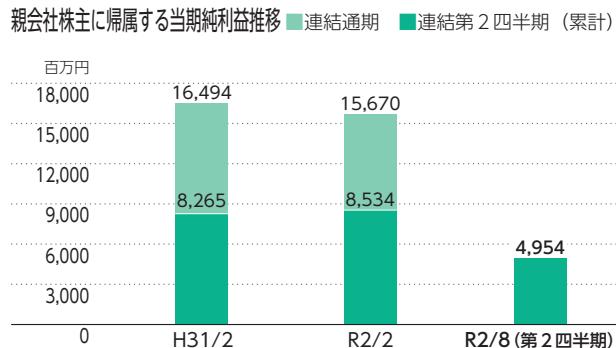
株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

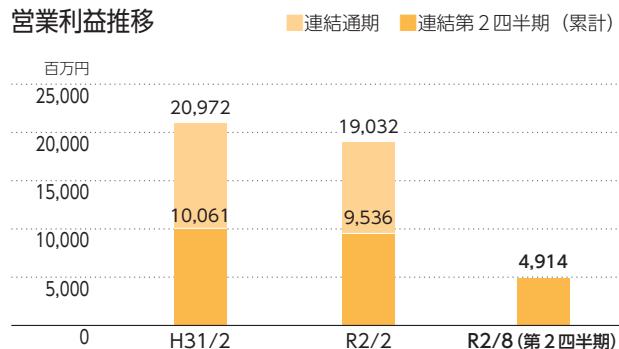
売上高推移



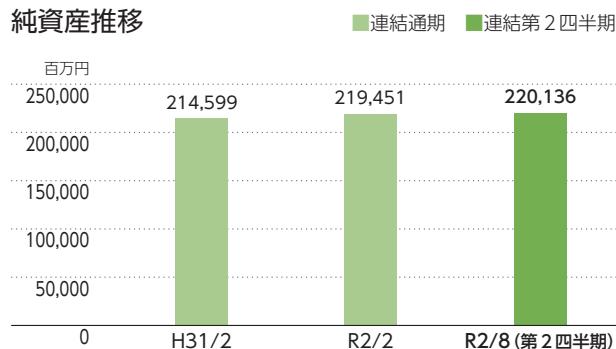
親会社株主に帰属する当期純利益推移



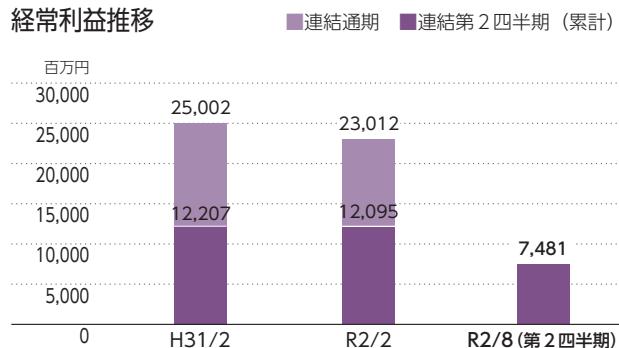
営業利益推移



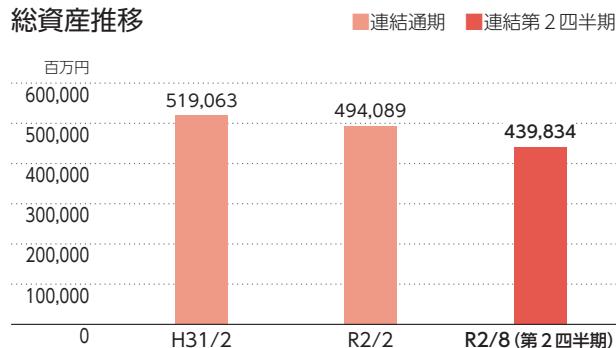
純資産推移



経常利益推移



総資産推移



(注) 会計基準変更に伴い、H31/2期の財政状態を一部遡及修正しております。

トピックス

1. 六合エレメック株式会社がタイ現地法人を設立

六合エレメック株式会社は、令和2年3月に、タイ国バンコク市に現地法人を設立しました。ユーザーに密着した営業活動を強化し、メーカー機能を有する商社として産業用電気・電子機器の販売拡大を行います。



2. 岡山営業所を開設

令和2年3月に、岡山営業所を開設しました。西日本をカバーする拠点網を強化し、自動車・プラント関連分野などの取引拡大を目指します。



3. 名古屋市港湾部の土地取得

令和2年3月に、名古屋市港区空見町に土地を取得しました。今後、新たな物流基地等としての活用を検討します。

4. 名古屋大学オープンイノベーション拠点(OICX)へ寄付

令和2年6月に、OICXへ開設時に引続き今後の運営活動費の寄付を行いました。OICXは主に名古屋大学発の学生ベンチャー企業の拠点であり、その支援・育成を目的としています。



5. チャリティーコンサートを開催

令和2年7月に、「OKAYAチャリティーコンサート」を開催しました。平成25年より社会貢献活動の一環として毎年開催してきましたが、本年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客にて開催し、その模様をテレビ放映およびインターネット配信しました。

なお、新型コロナウイルスの影響で、日常生活に困難を抱える子供と家族への緊急支援・協力を含め、社会福祉法人中央共同募金会および愛知県共同募金会へ計300万円を寄付しました。



6. 令和2年7月豪雨への義援金寄付

令和2年7月豪雨による被災者の方々に対し、グループ会社と共に100万円を寄付し、社員向け保養所がある長野県木曾町に対し、10万円を寄付しました。

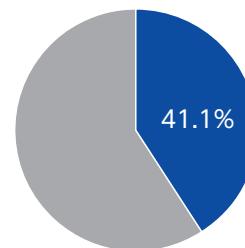
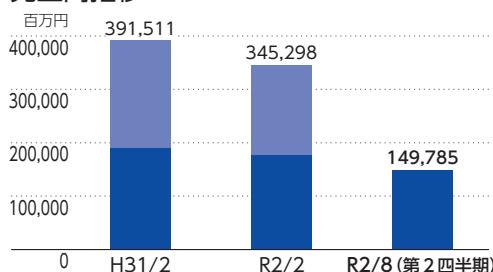
セグメント情報

鉄 鋼



鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具鋼、ステンレス鋼 他

売上高推移



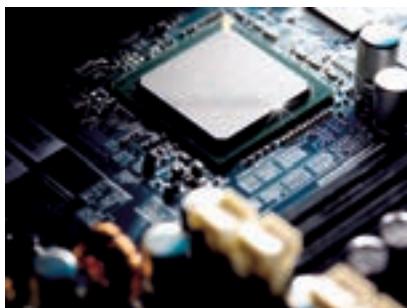
鉄鋼部門は、鋼材需要の落ち込みにより、建材関連や製造業向けが減少しました。

特殊鋼部門は、自動車・産機・工作機械等の減産の影響を受け、国内外で販売が大幅に減少しました。

海外は、一部輸出の増加はあったものの、米国及びアジア向けを中心に減少しました。

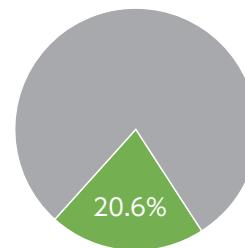
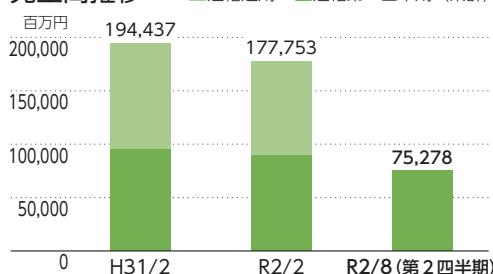
鉄鋼セグメントの売上高は、1,497億85百万円（前年同期比15.9%減）となりました。

情報・電機



銅・アルミ、レアアース、電子部材、汎用電機品、映像機器、半導体・周辺電子部品、ソフトウェア開発・販売 他

売上高推移



非鉄金属部門は、自動車用部品の減少とエアコン部品用材料の不振に加え、銅・アルミ市況の下落もあり減少しました。

エレクトロニクス部門は、パソコン・通信機器関連製品及び半導体等が増加しましたが、FA・設備機器及び車載部品が減少しました。

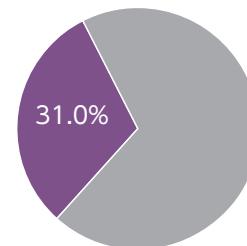
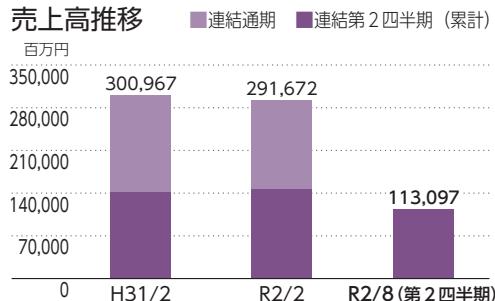
情報・電機セグメントの売上高は、752億78百万円（前年同期比15.6%減）となりました。

産業資材



工作機械、工具、産業用ロボット、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器、航空機部材、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品 他

売上高推移



化成品部門は、自動車関連や住設向け樹脂原料が減少しました。
メカトロ部門は、自動車・工作機械等の減産の影響を受け、部品・工具・設備等が減少しました。

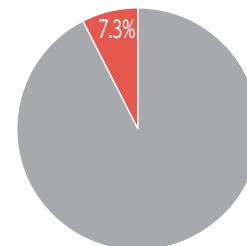
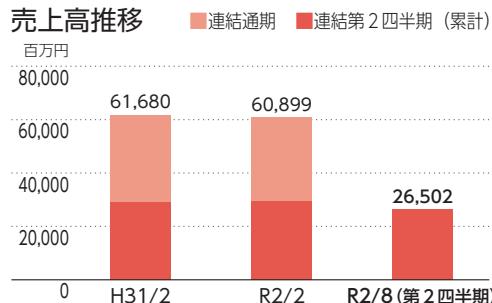
産業資材セグメントの売上高は、1,130億97百万円（前年同期比23.2%減）となりました。

生活産業



配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他

売上高推移



配管建設部門は、住宅機器向け部材が増加しましたが、エネルギー関連及び配管機材類がともに減少しました。

食品部門は、水産物及び鶏肉の輸入取引が減少しました。

生活産業セグメントの売上高は、265億2百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間 (令和2年8月31日現在)	前連結会計年度 (令和2年2月29日現在)
資産の部		
流動資産	256,714	311,762
固定資産	183,120	182,326
有形固定資産	42,837	39,868
無形固定資産	2,034	1,577
投資その他の資産	138,249	140,880
資産合計	439,834	494,089
負債の部		
流動負債	166,676	221,350
固定負債	53,021	53,287
負債合計	219,697	274,637
純資産の部		
株主資本	162,903	159,105
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	146,444	142,646
自己株式	△ 467	△ 467
その他の包括利益累計額	47,420	50,330
その他有価証券評価差額金	46,469	48,068
繰延ヘッジ損益	△ 34	66
為替換算調整勘定	△ 790	142
退職給付に係る調整累計額	1,776	2,053
非支配株主持分	9,812	10,015
純資産合計	220,136	219,451
負債純資産合計	439,834	494,089

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (令和2年3月1日から 令和2年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成31年3月1日から 令和元年8月31日まで)
売上高	364,663	444,188
売上原価	340,505	413,635
売上総利益	24,158	30,553
販売費及び一般管理費	19,243	21,016
営業利益	4,914	9,536
営業外収益	3,450	3,812
営業外費用	883	1,253
経常利益	7,481	12,095
特別利益	112	136
特別損失	235	165
税金等調整前四半期純利益	7,358	12,066
法人税、住民税及び事業税	2,262	3,157
法人税等調整額	92	2
四半期純利益	5,003	8,905
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	371
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,954	8,534

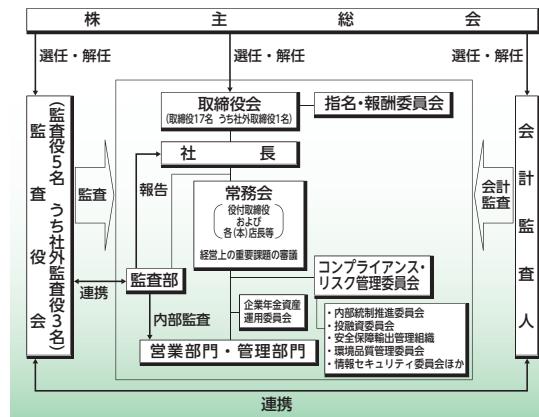
内部統制システムに関する基本的な考え方およびその整備状況

1. 基本的な考え方

企業としての社会的責任を自覚し、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスおよびリスク管理を経営の重要な課題と位置付けており、課題達成のためのインフラとして内部統制システムを位置付け、継続的に充実・強化を図っております。

2. 整備状況（詳細は当社ホームページをご参照ください。 <https://www.okaya.co.jp/>）

- ① 取締役・使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
- ② 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
- ③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- ④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- ⑤ 当社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
- ⑥ 監査役の職務を補助すべき使用人に関する事項、当該使用人の取締役からの独立性に関する事項、当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項
- ⑦ 当社および子会社の取締役および使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制、報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制
- ⑧ その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制



利益配分に関する基本方針および株主優待について

1. 配当政策

当社グループは、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としております。

2. 株主優待

当第2四半期末（令和2年8月期）株主優待として、8月末保有株式数200株以上の株主様に、《愛知県産米 山の幻ミネアサヒ5kg》をお贈りします。

なお、当期末（令和3年2月期）保有株式数100株以上の株主様に、《愛知県産米 山の幻ミネアサヒ5kg》をお贈りします。

また、長期保有株主様向け優待として、半期毎（2月末および8月末）の株主名簿に同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件とし、当第2四半期末（令和2年8月期）保有株式数100株以上の株主様に《図書カード1,000円相当》を、当期末（令和3年2月期）保有株式数100株以上の株主様に《図書カード2,000円相当》をお贈りします。

転居などにより、株主優待品をお届けできない場合があります。
確実にお届けするため、転居などによりご住所が変更となった株主様は、住所変更のお届出をお願いいたします。

会社概要 (令和2年8月31日現在)

会社概要

商号	岡谷鋼機株式会社 OKAYA & CO., LTD.
所在地	名古屋市中区栄二丁目4番18号
創業	寛文9年(1669年)
設立	昭和12年(1937年)
資本金	91億28百万円
事業	国内販売・輸出入貿易業・建設業・ 倉庫業・不動産業
就業人員	連結 5,174名 単体 714名
URL	https://www.okaya.co.jp/

役員

代表取締役社長	岡谷篤一
取締役副社長	川松康吉
取締役副社長	馬場紀彰
取締役副社長	岡谷健広
専任取締役	金剛野隆
専任取締役	矢坂内田
専任取締役	河村藤元
専任取締役	佐大英
専任取締役	大笠野雅
専任取締役	仲根秀
専任取締役	犬井佳
専任取締役	坂井俊
専任取締役	島田晴
専任取締役	山田正
専任取締役	大上道乃
専任取締役	小栗純
専任取締役	中川宏由

ネットワーク

1. 当社

本社・名古屋本店	名古屋市中区栄二丁目4番18号
東京本店	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 (丸の内中央ビル) 東京都新宿区西新宿三丁目7番1号 (新宿パークタワー)
大阪店	大阪市西区新町一丁目27番5号
国内支店	豊田、刈谷、安城、 北関東(小山市)、静岡、浜松、 北海道(苫小牧市)、東北(仙台市)、 新潟、北陸(富山市)、 中国(広島市)、九州(福岡市)

2. 関係会社等

国内	(株)NaITO(東京都他)、岡谷マート(株)(東京都他)、岡谷エレクトロニクス(株)(横浜市他)、岡谷鋼機九州(株)(福岡市他)、東海プレス工業(株)(愛知県弥富市)、中部合成樹脂工業(株)(愛知県豊川市他)、岡谷建材(株)(東京都他)、岡谷物流(株)(名古屋市他)、六合エレメック(株)(名古屋市他)、岡谷スチール(株)(名古屋市他)、岡谷機電(株)(名古屋市他)、(株)岡谷特殊鋼センター(愛知県丹羽郡)、東海岡谷機材(株)(愛知県刈谷市他) 他
海外	米国岡谷鋼機会社、カナダ岡谷鋼機会社、メキシコ岡谷鋼機会社、ブラジル岡谷鋼機会社、欧州岡谷鋼機会社(ドイツ他)、インド岡谷鋼機会社、タイ岡谷鋼機会社、サイアムスリヤ会社(タイ)、マレーシア岡谷鋼機会社、シンガポール岡谷鋼機会社、ベトナム岡谷鋼機会社、インドネシア岡谷鋼機会社、広州岡谷鋼機有限公司(中国)、香港岡谷鋼機有限公司(中国)、北京岡谷鋼機有限公司(中国)、上海岡谷鋼機有限公司(中国)、台湾岡谷鋼機有限公司、韓国岡谷鋼機会社、豪州岡谷鋼機会社、Poland Tokai Okaya Manufacturing Sp. z o.o.、Union Autoparts Manufacturing Co., Ltd.(タイ) 他

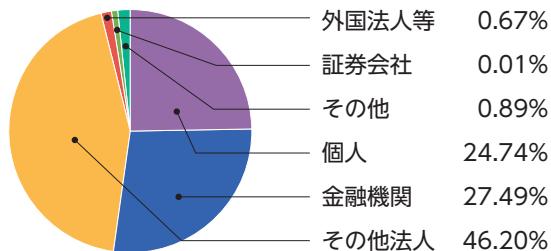
株式の状況 (令和2年8月31日現在)

株式の状況

株式数	
発行可能株式総数	35,571,200株
発行済株式の総数	9,720,000株
株主数	3,749名

株式分布状況

所有者別割合



大株主の状況

株主名	持株数 千株	持株比率 %
岡谷不動産株式会社	1,214	12.60
岡谷篤一	482	5.00
株式会社三菱UFJ銀行	462	4.80
日本製鉄株式会社	434	4.51
三井住友信託銀行株式会社	402	4.17
株式会社りそな銀行	265	2.75
損害保険ジャパン株式会社	251	2.60
岡谷鋼機社員持株会	180	1.87
オークマ株式会社	163	1.69
公益財団法人真照会	138	1.44

- (注) 1. 持株比率は自己株式(86,813株)を控除して計算しております。
 2. 公益財団法人真照会は、将来社会に貢献し得る人材を育成し、併せて学術・技芸の振興を図るために必要な奨学援助をなすことを目的として、大正6年に創設されました。

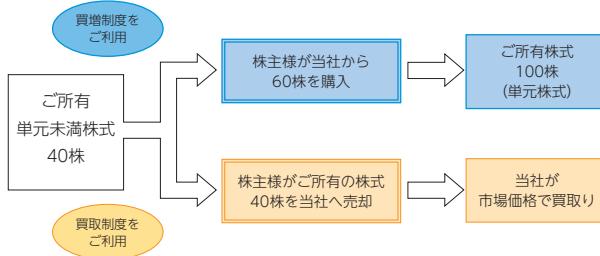
株式に関するお知らせ

単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(1~99株)については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求(売却)、または100株(1単元)となるよう買増請求(購入)をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏面記載の連絡先にお申し出ください。

【単元未満株式買増・買取制度例】

○単元未満株式40株をご所有の株主様の場合



特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座*に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお勧めします。



※特別口座
株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった場合に、当該株式が記録される口座です。

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 5月
配当金支払株主確定日 期末配当 2月末日
中間配当 8月31日

公告の方法 電子公告
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

電子公告掲載ホームページアドレス

https://www.okaya.co.jp/ir/public_notice/

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

連絡先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
全国本支店で行っております。

ホームページのご案内

岡谷鋼機のホームページでは、決算短信等の詳しい財務データや各種IR情報を掲載しています。
是非一度ご覧ください。



・岡谷鋼機ホームページアドレス
<https://www.okaya.co.jp/>

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
・単元未満株式の買取・買増請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	□座を開設されている証券会社
・郵送物の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	三井住友信託銀行株式会社証券代行部

特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
・単元未満株式の買取・買増請求 ・特別口座から証券口座への振替請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	三井住友信託銀行株式会社証券代行部
・郵送物の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただきます。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



岡谷鋼機株式会社



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。